

spread はパンにバターなどを塗るといった場合に、Spread butter on the bread. のように 使う動詞で、日常会話でもよく使われます。一方、extend はむしろその名詞形の extension は「内線」の意味でよく耳にする表現です。例えば、Give me extension 205, please. (内線 205 番をお願いします) のように使います。どちらも「伸ばす」や「広げる」の意が基本的で、使 い分けるのが少しむずかしい動詞です。



Spread butter on the bread.

パンにバターを塗る



Give me **extension** 205, please.

内線 205 番をお願いします

spread のコアは、「広げる」で、たたんだものを広げたり、何かを平らに伸ばしたり、料理を広げたり、うわさを広めたりする場合に使います。

自動詞の場合には「広がる」で、English has spread globally across the nations. とい えば「英語は国境を越えて世界的に広がった」という意味です。また、This paint spreads well. といえば「このペンキはよくのびる」といった感じです。「うわさを広げる」ときも spread を 使い、He spread rumor around. のように表現します。 fake news を広めるような状況で すね。



English has **spread** globally across the nations.

英語は国境を越えて世界的に広がった



This paint spreads well.

このペンキはよくのびる



He spread rumor around.

彼はうわさを広げた

何か感染病が広がっていて、手に負えなくなっている、という場合、It is spreading and getting out of control. と表現することができるでしょう。高齢化が進むという状況は全体に 広がるということなので、 spread を使って、 The aging population has continued to spread. (高齢人口が拡大の一途だ)のようにいいます。



It is **spreading** and getting out of control.

(何か)感染病が広がっていて、手に負え なくなっている



The aging population has continued to **spread**.

高齢人口が拡大の一途だ

一方、extend は「線的に伸ばす」というのがコアです。

extend は、感覚的には、線的に伸ばす(拡張する)ということで、その方向は左右、上下が基本的です。spread のように対象の幅そのものが広がるというイメージはありません。体操教室で、Now extend your arms along the bar. (さあ、腕を横棒に沿って伸ばして)だと腕なので extend のコアが生きています。滑走路の拡張でも、They are going to extend a runway. (彼らは滑走路を拡張する予定だ)のように extend がぴったりです。応用としてはextend the hand of friendship (友情の手を差し伸べる)、extend hospitality to guests (客をもてなす)、さらには extend one's visa (ビザを延長する)などのように使います。He was surrounded by people extending congratulations. といえば、「彼は祝福の意を述べる人たちに囲まれていた」ということです。



Now **extend** your arms along the bar.

さあ、腕を横棒に沿って伸ばして



They are going to **extend** a runway.

彼らは滑走路を拡張する予定だ

extend the hand of friendship

友情の手を差し伸べる

extend hospitality to guests

客をもてなす



extend one's visa

ビザを延長する



He was surrounded by people **extending** congratulations.

彼は祝福の意を述べる人たちに囲まれていた